

くわのみが開設する医療・介護の相談室

申請者名：繁澤弘子

対象年度：2013年度前期

提出年月日：2014年8月27日

1. 報告対象期間

2013年8月1日～2014年8月24日

2. 相談件数について

①対象期間の相談件数は延150件であった

②月別相談件数は下記の表の通りであった

年月	H25年8月	9月	10月	11月	12月	H26年1月	2月
相談件数(件)	7	7	6	3	6	12	12
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	総計
	10	28	7	4	28	20	150

4月7月8月は地域内の春祭り・くわのみ夏祭り・地域内の電车道祭りに「くわのみ医療介護何でも相談」ブースを設けたため、血压測定などの健康相談件数が多かった。

3. 相談内容について

内容別相談件数は下記の表の通りであった

内容	件数(件)	割合(%)
健康相談	50	33.3
認知症関係	24	16
介護保険サービス利用関係	23	15.3
高齢世帯の生活問題	20	13.3
入退院関係	12	8
がん関係	8	5.4
精神症状関係	5	3.3
高次脳機能障害	4	2.7
その他	4	2.7
計	150	100

健康相談が50件と最も多く、次いで認知症関係、介護保険サービス利用関係、高齢世帯の生活問題が多かった。

4. 相談対象者の年齢構成について

相談対象者の年齢構成は下記の表の通りであった

年齢	人数(人)	割合(%)
20歳代	4	2.7
30歳代	5	3.3
40歳代	14	9.3
50歳代	10	6.6
60歳代	31	20.7
70歳代	32	21.4
80歳代	51	34
90歳代以上	3	2
合計	150	100

80歳代の相談者が51人と最も多く、次いで70歳代、60歳代の相談者が多かった。

5. 活動及び相談に要した時間は下記の表の通りであった

月	活動内容	活動時間数	相談時間数(時間)	時間数合計
8	第1回会議 チラシ作製 新聞折り込み宣伝 記録用紙作成 電車道祭り時に何でも相談ブース 地域包括あいさつ回り ケアマネ事業所あいさつ回り	27	14	41
9	地域ケア会議参加 第2回会議 集計表作成	24	11	35
10	第3回会議	4	8	12
11		0	5	5
12		0	10	10
1	第4回会議	4	23	27
2	中間報告書作成	8	22	30
3		0	12	12
4	春祭り時になんでも相談ブース	16	6(春祭り以外)	22
5		0	12	12
6	第5回会議	4	14	18
7	チラシ作製・新聞折り込み宣伝 くわのみ夏祭り時になんでも相談ブース	24	2(夏祭り以外)	26
8	電車道祭り時になんでも相談ブース 第6回会議 報告書作成	30	4(電車道祭り以外)	34
合計		141	143	284

総活動時間数は延284時間であり、そのうち相談に要した時間は143時間であった。
この相談時間は事業所内で行った相談であり、外に出かけての相談(祭り時の「何でも相談」の時間数は含まれていない。

6. 感想

- ・当初は電話予約による週2回の定期開催相談を予定していたが、相談者の希望により途中から随時相談に切り変えた。また相談スタッフを当初は3名予定していたが、随時相談に切り替えたため半専任の2名を担当者に据えた。結果的には2名の半専任にしたことは継続する相談も多数あったことから良かったと考える。
- ・訪問看護ステーションが訪問看護業務以外に相談活動を行うことで、より幅広い看護活動も行うことができる場所だという認識を相談者には持っていただけたと考える。
- ・相談件数は健康相談が50件と多かったが、これは4回行ったイベント時の「何でも相談」ブースでの相談が多かったことが影響している。また認知症の困難ケースや初期の混乱時期の相談も多く、このような相談は継続相談となったケースも5件あった。

7. 辞退に至った理由

8月初旬までは2年目以降も相談活動を続けていく予定で、相談活動の宣伝を新聞折り込みチラシを活用し広範囲に行いました。しかし8月中旬になり相談担当のスタッフが健康上の利用から9月以降休職する事態となり、代わりのスタッフの確保を試みましたが、8月末時点でスタッフ確保が困難と判断したため2年目以降の継続を辞退させていただく事としました。

※本事業は公益財団法人「在宅医療助成 勇美記念財団」の助成を受けて行ったものです。